

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2002年放送分\(非公開\)](#) > 9月7日放送分 発見！丹後に宝の山！

9月7日放送分 発見！丹後に宝の山！

7日(TX・TVO)

8日(TVA・TVH・TVQ・RCC)

9日(BSJ)放送

日本最大の絹織物産地である丹後地方で、産地の活性化を図る組合がある。

京都府の丹後織物工業組合(出資金24,500万円、組合員2,924名)は、絹織物の精練過程で廃棄されていた繭に含まれるたんぱく質「セリシン」の有効性に着目し、スキンケア化粧品、入浴液を開発した。

産地固有の技術をベースにしながらも、織物とは全く異なる分野の開拓に努めている同組合の挑戦を紹介する。

発見！丹後に宝の山！

絹の成分でスキンケア

[視聴覚教材No. TV14-23](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



「薬局にて」

「まゆから出来ているスキンケア製品って知ってますか？」

とお客さんに尋ねる志垣さん。

「あ～、まゆちゃんですね。」との答えが。

これがまゆから生まれたスキンケア製品。



実際に使っているお客さんを発見！
 「まゆのタンパク質で、しっとりするんですよ。丹後織物工業組合で作っているらしいですよ。」
 それでは、組合を訪ねることに…。



丹後地方は、「丹後ちりめん」で知られる日本最大の絹織物の産地。
 1921年に創立したこの組合は丹後地方の織物工場などが協力し、絹織物の加工を行うなど、地域が一体となった活動をしている。



「丹後織物工業組合の坂根理事長」

300年の歴史を誇る丹後織物。
 しかし…
 絹織物の生産は、ピーク時、1973年の1,000万反より123万反(2001年)に減少。
 そこで、産地を守る新たな取組みが、絹の成分によるスキンケア製品の開発だった。

POINT: 挑戦する姿勢が大切



「志垣さんと坂根理事長」

以前は、絹の精練過程で不純物として捨てられていた「セリシン」。
今では、優れた効果の発見により、**宝物**として注目されている。



「丹後織物工業組合 中央加工場の梅田場長」

セリシンの実物を見ようと、回収と利用技術の開発に協力した京都府織物・機械金属振興センターへ。

POINT: 捨てていた卵を有用な金に



左: セリシンの粉末 右: 織物課 山崎主任研究員

和服の人气が低迷する中、産地を守ろうと努力を続ける丹後地方の人たち。
新しい絹製品に、地域の期待が集まっている。



文殊荘、松露亭にて。手前から京都府織物機械金属振興センター梅野所長、坂根理事長、志垣さん

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN